

# 鉄道構造小委員会の活動 (終了報告)

H13.4 ~ H17.3

# 小委員会概要

委員長 西岡 隆(筑波大学)(前期)

角 知憲(九州大学)(後期)

副委員長 松浦 章夫(芝浦工業大学)

幹事長 石田 誠(鉄道総研)

委員数 30名

小委員会 21回開催

# 鉄道力学シンポジウム

- 鉄道力学小委員会から継承
- 土木学会で実施
- 査読つき論文講演 10数件
- 成果報告
- 特別講演

第5回	H13.06.19	57名
第6回	H14.07.16	95名
第7回	H15.07.15	65名
第8回	H16.07.14	70名

# 研究活動

スラック(曲線通過性能を高める方策) H13

地方鉄道的高速化と低コスト化に向けた技術的方策の検討 H13～15

鉄道用の新構造盛土 H13～17

線路研究のグランドデザイン研究会 H13～15

(H16全国大会研究討論会)

新形式鉄道貨物輸送のための技術開発 H15～17

減圧トンネルを含む新形式高速鉄道 H15～17

# 線路研究のグランドデザイン研究会

2025年における鉄道のあるべき姿を描き  
それに必要な研究開発を明らかにする。

## 前期

2025年における  
鉄道のシナリオ

新技術  
鉄道研究

## 後期

新設鉄道  
既設鉄道  
都市圏鉄道  
貨物鉄道  
構造とシステム

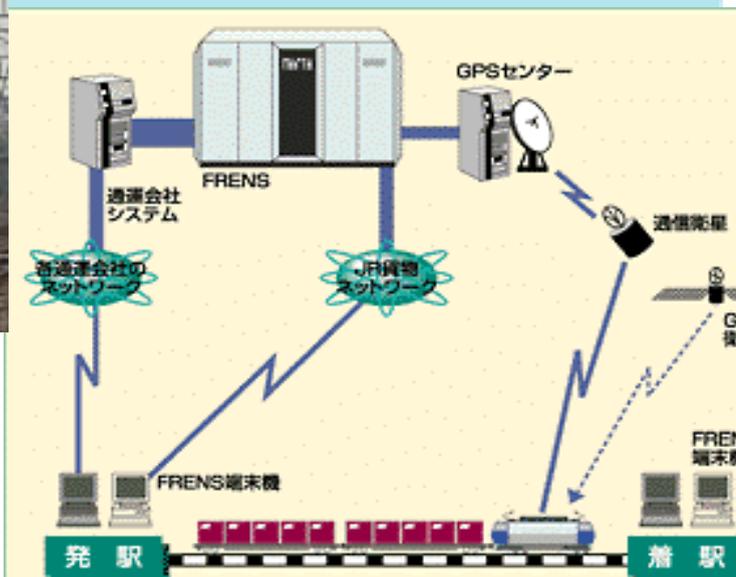
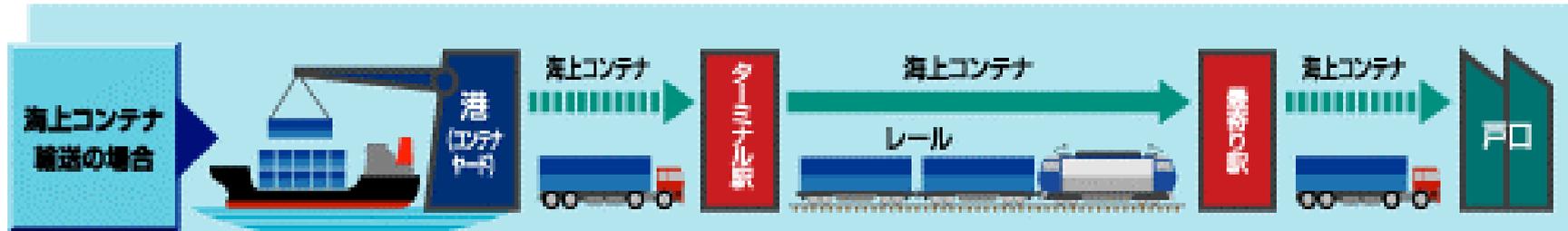
H16全国大会研究討論会

# 新形式鉄道貨物輸送のための技術開発

2000年における鉄道の占有率 4%(トンキロ)

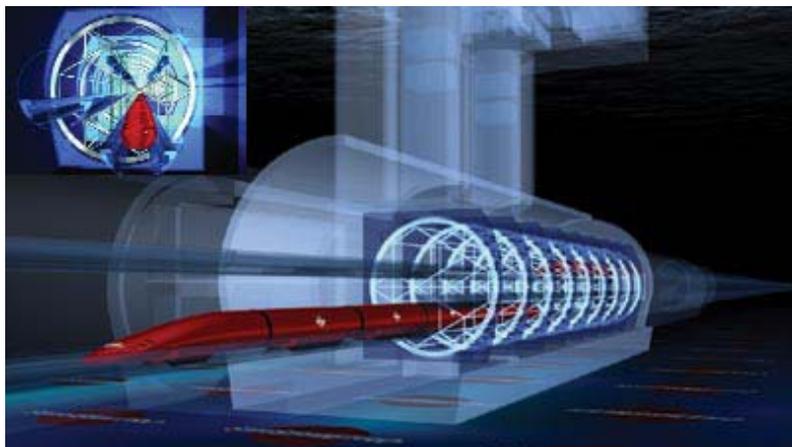
地球規模の環境問題 → 鉄道への輸送シフト

シナリオ 500キロ以上の長距離帯において15%以上の占有率

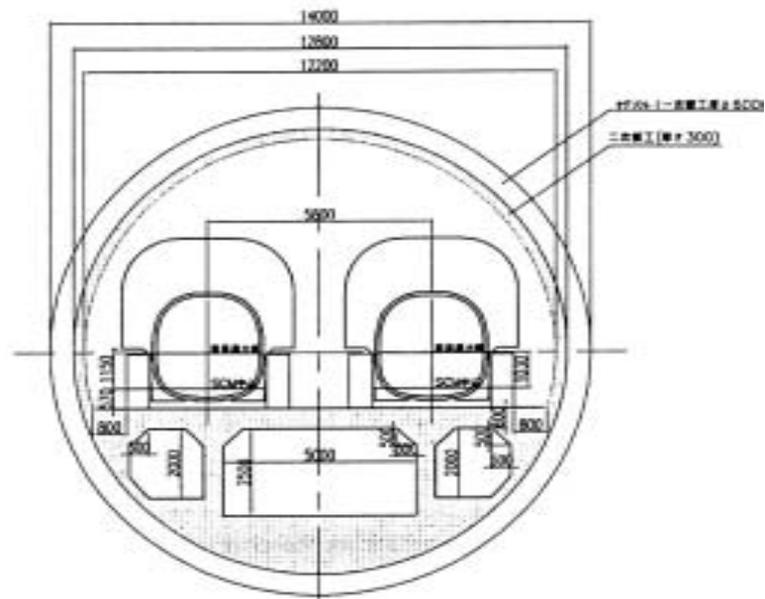
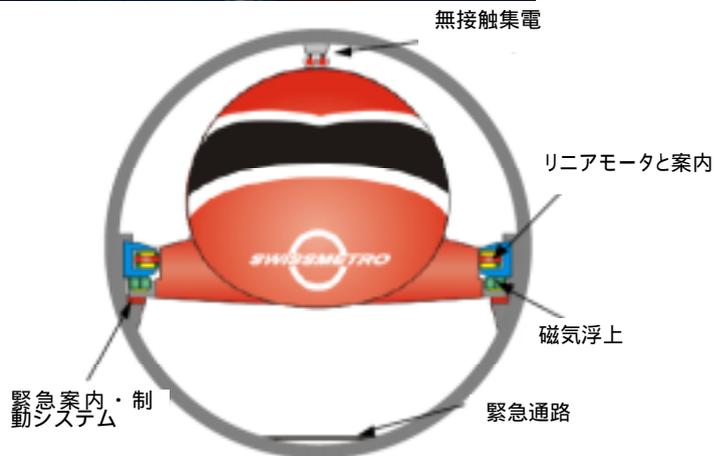


# 減圧トンネルを含む新形式高速鉄道

リニアを凌駕する速度域では、空気抵抗が問題  
減圧チューブによる空気抵抗の低減



スイス



提案したリニア複線トンネル断面